

受験番号

㊦ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

この部分は、
著作権の関係で
掲載できません。

受験番号

問一 〰線部 a～e のカタカナを漢字に直せ。

a	b	c	d	e
---	---	---	---	---

問二 () () () () を補うのに最も適当な語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

ア・ところか	イ・つまり	ウ・もちろん	エ・だから	オ・あるいは	カ・たとえば
--------	-------	--------	-------	--------	--------

問三 A を補うのに適当な一語を文中から抜き出せ。

問四 〰線部 「社会的人間として社会のほうに」投げ返している例として適当でないものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア・研究室にもって新しい薬の研究開発をする。
- イ・歌手として人々の感動を誘う歌を歌い続ける。
- ウ・看護師の資格に加え別の資格を取ろうとする。
- エ・水泳のコーチになってオリンピック選手を育てる。

問五 〰線部 『活きた』実力』とはどういうものか。文中の語句を用いて三十字以内で答えよ。

問六 〰線部 「それ」の指示内容を文中の語句を用いて答えよ。

問七 〰線部 「あまりにもかたよった心理主義」の説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア・人からの評価をそのまま信じてしまうこと。
- イ・人からの評価にすっかり満足してしまうこと。
- ウ・人からの評価だけで行動してしまうこと。
- エ・人からの評価を期待しすぎてしまうこと。

問八 〰線部 「意識と行動の循環」の説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア・自身自身に関する評価をどのように理解するかが自分の行動に良くも悪くも影響を及ぼすということ。
- イ・周りからの評価によって社会の中に自分を位置づけ、その意識によってとるべき行動を決めるということ。
- ウ・自ら行動を起こすことによって自分自身への肯定的な意識が生まれ、それが次への行動を起こすということ。
- エ・評価によって生まれた意識にもとづき行動することで、さらに意識が高まり次の行動へとつながっていくこと。

問九 〰線部 「それは『いい評価』なのです」について、

(1) 「それ」とは何か。文中から五字以内で抜き出せ。

(2) なぜ「いい評価」だといえるのか。二十字以内で答えよ。

問十 本文の内容に合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

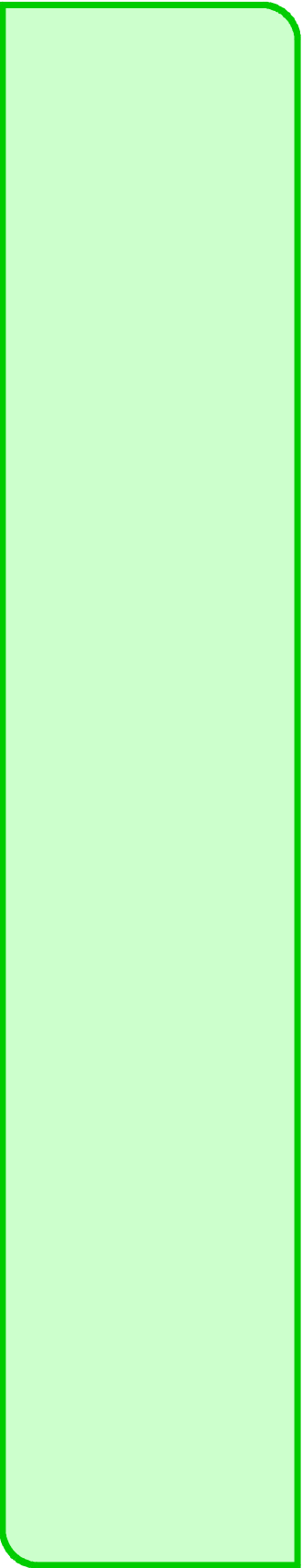
- ア・自分の行動を人から高く評価してもらって初めて社会に貢献できたといえる。
- イ・何をするにもまずは自分なりの目標をきちんと設定しなければならぬ。
- ウ・周りからどんなにいい評価をもらってもそれを活かさなければ意味がない。
- エ・人から評価をされることと同様に社会に貢献していくことも大切である。

受験番号

□ これを読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

この部分は、
著作権の関係で
掲載できません。

受験番号



問一 () a () () d () を補うのに最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号は一度しか使わないこととする。

- ア・どきんと イ・うじうじ ウ・けろりと エ・がっかり

a	b	c	d
---	---	---	---

問二 — 線部 「やっぱりものすごいショックだったんだよね」とあるが、知季がそのように言うのはなぜか。文中の語句を用いて二つ答えよ。ただし、一つは二十字以内、もう一つは三十字以内で答えること。

問三 [] [] を補うのに、最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

- ア・メダルをとれる一部の強い選手
 イ・顔も見たことないような大人たち
 ウ・のんきに応援してる観客
 エ・勝つことしか許されてないぼくたち

- ア・資金を集める手段
 イ・客を呼ぶ広告塔
 ウ・メダルを運ぶこま
 エ・忠実なロボット

--	--	--	--

問四 — 線部 「その事実」とあるが、その説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア・自分と同様に、オリンピックは選手のものではないという思いを知季も抱いていたこと。
 イ・メダルを目指してこれまで熱心に練習してきたことが、無駄になってしまったこと。
 ウ・知季の言葉によって、漠然と感じていたオリンピックへの疑念が以前よりも強まったこと。
 エ・オリンピックの選手たちは、日水連の思っままに動かされているにすぎないということ。

問五 — 線部 「ぼくだけの枠」とあるが、ここでいう「枠」とは何を意味するか。文中の一語で答えよ。

問六 — 線部 「知季は成長しつつづけている。肉体だけでなく、その心までも」とあるが、ここで用いられている表現技法を漢字で答えよ。

問七 — 線部 「知季はうなずき、初めて要一にライバルの目を向けた」とあるが、「ライバル」になる以前、要一にとって知季はどのような存在だったか。文中から十字程度で抜き出せ。

問八 — 線部 「羽が生えてる」とはどういう状態をいうのか。十五字以内で答えよ。

問九 — 線部 「なんとも言えない感覚」とあるが、これはどのような気持ちを表しているか。文中の語句を用いて二十五字以内で説明せよ。

問十 本文の内容に合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア・練習中の事故で怪我をした知季は、要一が見舞いに訪れたときにはその恐怖をすっかり克服していた。
 イ・知季の語る、オリンピックは自分だけではなく周囲の人のものでもあるという考えに、要一は共感した。
 ウ・自分が越えるべき枠を新たに見出し、それに向かって努力を続ける知季に、要一は恐れを抱いた。
 エ・知季のことを初めてライバルだと認めた要一は、互いに全力を尽くして競い合うことを約束した。

受験番号

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(二十点)

この部分は、著作権の関係で掲載できません。

問一 — 線部 「子を勸当して」「世のおぼえ、ことのほかなり」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア・子に失望して
- イ・子に感動して
- ウ・子をしかつて
- エ・子をほめて

- ア・世間の人々の評判は格別だった
- イ・世間の人々に記憶が強く残った
- ウ・世間の人々からひどく軽べつされた
- エ・世間の人々から盛んに同情された

Answer box for Question 1

問二 — 線部 「打ちける」「申しけれ」の主語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

- ア・武則
- イ・公相
- ウ・見る人
- エ・世人
- オ・孔子
- カ・曾参

Answer box for Question 2

問三 — 線部 「逃ぐることもなくて、打たれけれ」について

(1) ほぼ同じ内容を表している部分を、「子」の言葉の中から十二字以内で抜き出せ。

Answer box for Question 3 (1)

(2) また、この件について世間の人々は、どのような感想を持ったか。十字以内で書け。

Answer box for Question 3 (2)

問四 — 線部 「いかに逃げずして、かくは打たるぞ」とあるが、その答えとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア・自分が逃げたことで、父の教育力がないことを世間に知られることになり、恥をかかせると思ったから。
- イ・自分が逃げた場合、その行方を心配するあまり、父が病気になるってしまうととも哀れだと思ったから。
- ウ・自分が逃げたとしても、父が本気で追いかけると逃げきれず、今あきらめるのが最善だと思ったから。
- エ・自分が逃げたとしたら、年老いた父が逃げる自分を追いかけてようとして転ぶと気の毒だと思ったから。

Answer box for Question 4

問五 — 線部 『『ゆゆしき不孝なり』といましめ給ひける』とあるが、孔子はなぜ戒めたのか。三十字以内で説明しなさい。

Answer box for Question 5

問六 公相と曾参は、同じ対応をしたにもかかわらず、対照的な結果になっている。作者は、その理由をどのように考えているか。文中から五字程度で抜き出して答えよ。

Answer box for Question 6